

崩壊した化学工場から救出される生存者15日午後、四川省什邡、奥寺写す



義援金や寄付 東海で本格化

中国四川省などを襲った大地震を受け、東海地方の日中

友好団体や企業の間で義援金募集などの動きが本格化してきた。

百貨店の松坂屋は16日から名古屋などの全9店舗に中国の大地震とミャンマーのサイ

クロン被害の義援金箱を設置する。三越などでも義援金箱をすでに置いている。また、日中友好協会愛知県連合会が同日正午から午後1時まで名古屋市中区栄の三越名古屋栄店前で、名古屋YMCAが午後5時から同7時まで栄地区一帯の街頭で、募金を呼びかける。週末には名古屋地区の中国人留学生らも街頭で募金を呼びかける。

トヨタ自動車グループを中心に現地に寄付する動きも相次いでいる。寄付(現地法人含む)の額は、デンソー、トヨタ紡織、豊田通商は各約3千万円、アイシン精機グループが約2500万円。トヨタ自動車は約1億5千万円と大型四輪駆動車10台を贈る。豊田自動織機も、現金1千万円に加え、フォークリフトやシヨベルカー数台を寄付する。また、トヨタ系以外では、ブラザー工業が約1500万円を寄付する。